

# 猛暑と節電に対する備えはできていますか？

温暖化による異常気象とエネルギー不足。この二重苦は、我々の暮らしや仕事に影を落としています。とくに夏場の工場などでは、大量のエネルギーを消費するエアコンの使用が制限され、作業時間の短縮や労働環境の悪化による生産性の低下が問題となります。猛暑と節電を強いられる現代日本にあって、夏を乗り切る備えを持つことはビジネスにおける最大の課題。ガイナならこの課題にお応えできます。



塗るだけで  
究極の遮熱効果  
**GAINA**

## 備え1 省エネ

エアコンに頼らず、室内温度-5℃を実現！

ガイナは日射の近赤外線と同時に、残った熱は遠赤外線に変換放射します。それによって、建物内部への熱侵入を最小限に抑制できます。これまでエアコンにかかっていた莫大なエネルギー消費量を大幅に削減し、省エネに貢献します。



室内空気平均温度  
**36℃** → **31℃**

## 備え2 労働環境改善

脱・灼熱地獄！生産性の向上！

節電により、エアコンの使用が制限されると工場や倉庫内の労働環境が悪化します。ガイナの遮熱機能は室内の温度上昇を抑制するため労働環境の悪化を抑え、生産性を向上させます。同時にエアコン使用量を抑え、省エネも実現させます。



## 備え3 コスト削減

痛手だった夏の電気料金を大幅削減！

エアコンの使用を大幅にセーブできるガイナの効果は夏期の電気料金も大きく削減できます。4基ものエアコンをフル稼働させても室内の熱溜りが解消できなかった倉庫では、ガイナ塗布後はエアコン1基の稼働で十分快適な環境を実現。夏の電気料金の大幅削減に成功しました。

	塗布前	塗布後
7月	181,185	82,323
8月	<b>234,232</b>	<b>117,887</b>
9月	<b>225,120</b>	<b>114,345</b>
10月	121,226	77,539

## 備え4 ピークカット

契約電力を下げ、さらに大幅なコスト削減！

日本の電力供給は、夏期のエアコン使用による電力消費量のピーク時に対応できるよう計画されています。ガイナが最も評価されているのは、その時期の電力消費量を大幅に低減させることです。企業の使命である節電に貢献することは、コスト削減にもつながります。

事例1 瓦葺屋根工場(1300㎡)

契約電力 **100KW** → **72KW**

●空調3台稼働→2台稼働

事例2 瓦葺屋根冷蔵倉庫(3800㎡)

契約電力 **1815KW** → **1600KW**

●2年間で740万円の経済効果

## 備え5 長寿命

セラミックの薄化粧で建物の長寿命化にも！

紫外線によって劣化しないセラミックを多層化したガイナは、一般的な塗料の2~3倍の耐久性を持っています。さらに優れた放熱機能によって、塗布部の熱膨張や伸縮を最小限に抑えることで、建物自体の長寿命化に貢献します。

効果寿命はなんと2~3倍以上



## 備え6 施工性

施工期間が短いため、今年の夏から導入できる！

『製造業における夏の電力供給対策』の中で、ピークカットの観点から効果のあった取組みを上位から上げると、「空調の運用改善」、「自家発電・蓄電池の導入」が効果的とされています。しかし莫大な導入費用や大がかりな工事が必要です。ガイナは塗装工事で今年から取り組みます。



ガイナは  
塗るだけ